

花巻新渡戸記念館

収蔵資料展

花巻の春 桃の節句

旧暦の三月三日は花巻地方の桃の節句……

花国にやつと訪れる春の息吹き……

子ども等は「お雛っ子 おがみさ きたんちや」と

家々では、お雛様に使えたお雛子で迎える……

当館所蔵のひな人形、花巻人形などを中心に展示します。

◇開催期間◇

令和2年

2月11日(火) ▶ 4月3日(金)

■開館時間■ 午前8時30分～午後4時30分まで [期間中休館日なし]

新渡戸稲造父祖ゆかりの地

花巻新渡戸記念館

〒025-0014 岩手県花巻市高松9-21 ☎0198-31-2120

<https://www.city.hanamaki.iwate.jp/bunkasports/bunka/index.html>

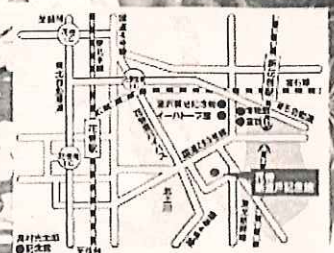
■入館料■

個人	一般	300円
	小中高生	150円
団体	一般	250円
	小中高生	100円

(団体入館料は、20人以上の団体)

(共通入館券(割引) あります)

(花巻市博物館・岩手県立記念館・岩手県立博物館)



〒025-0014 岩手県花巻市高松9-21
TEL 0198-31-2120
FAX 0198-31-2121
E-MAIL bunka@city.hanamaki.iwate.jp
WEB <https://www.city.hanamaki.iwate.jp/bunkasports/bunka/index.html>

花巻人形

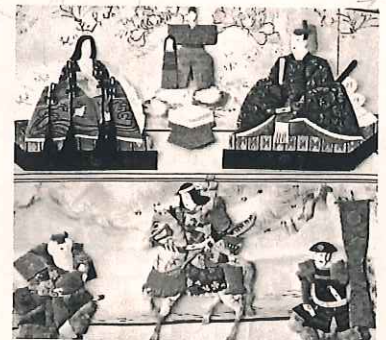
江戸時代中期頃から花巻で制作された土人形です。内裏雛を中心に、歴史上の人物や説話・浮世絵・歌舞伎・風俗・動物など千種を超える題材のもとに制作されました。



くくり雛

水沢の画人である砂金竹香(いさごちっこう・1858～1930)が京都で開催された押し絵からヒントを得て郷里の商人や旧家の婦人、子供達に教え伝えたのが始まりとされています。

厚紙の上に綿を置き布地でくるんで作られますが、布にくるむ事を方言で「くくる」ということからこう呼ばれています。



貝雛

「ひなまつり」には貝はつきもので、江戸時代では江戸前でとれた「はまぐり」をそなえる風習がありました。昔から二枚貝は「姫様」(女の子)を意味していたからです。貝類がこの時期に一番美味しくなると同時に、「はまぐり」は二枚の貝がぴったりと合い、他の貝殻とは合わないことから「女の美德や幸せ」につながるとされたのです。この事から「はまぐり」は「夫婦和合」の象徴とされ結婚式にも縁起物として出されています。

蛤の殻を水でよく洗い、正絹やちりめんで着物をつくりボンドで貝に貼ります。色紙や色鉛筆で顔を描き、金糸やリボンなどで飾り付けをします。

